

令和4年 2月10日

防衛省北関東防衛局長  
扇谷 治 殿

東京都小笠原村長 渋谷 正昭

### 父島周辺におけるオスプレイの低空飛行について(抗議)

2月9日、父島及びその周辺で米軍機と思われるオスプレイが、低空飛行を長時間にわたって行いました。

事前の通告等もない中での飛行であったため、目撃した多くの村民は不安を感じ、村にも問い合わせを受けたところですが、何ら情報もないため、即時に貴局に照会をいたしました。未だ回答がない状況であります。

航空法上、米軍機には様々な特例措置がされていることから、今回の飛行についても直ちに違法行為であるとまでは申しませんが、全国各地においても米軍機の低空飛行が問題視されているところであり、今般の突然の飛行は村民へ大きな不安を生じせしめるとともに、小笠原の貴重な鳥類や来遊シーズンを迎えているザトウクジラの行動にも影響を与えかねないほどの低空飛行でありました。

さらに、今回の低空飛行を目撃した村民の情報を総括すると、必要な訓練というよりも父島周辺の遊覧飛行であったのではないかと推察されます。

もとより、小笠原村にあっては防衛省による今後のオスプレイの飛行等は、災害対応や急患搬送に際しての輸送手段の多様化に結び付くことから、容認する考えであります。

しかしながら、今般のような、突然、かつ村民の不安を煽るような飛行は、到底容認できるものではありません。

ここに、今般の低空飛行について強く抗議するとともに、どのような目的や意図があったのか、また今後の対応等について速やかに調査、報告されるよう求めます。